

株価、高値波乱の様相

円相場めぐる思惑で乱高下

平均株価は1万500円前後の水準で乱高下。前場の1万694円を高値に、後場は一時、前日比167円安の1万432円まで下落したが、大引けは小反発。買い一巡後、前引けにかけて伸び悩みとなり、後場は手じまい売りや、先物へのヘッジ売りに一時的に値を消した。しかし「1ドル1100円を容認すると受け止められる要人発言があった」（準大手証券）ことで、輸出関連が先行して切り返し、結果的に小反発で終了した。TOPIXは877・35、895・87ポイントの動き。東証1部騰落銘柄数は、値上がり607（35%）、値下がり984（58%）。東証1部1日出来高概算は39億3450万株。（J）

不動産株が軟調

株式市場では、三井不動産（8801）など不動産株が総じて軟調。相場全体の騰勢が鈍るなか、先駆けて上昇していた同セクターへの食い売りが強まった。不動産株も同様の流れで下げが目立った。一方、ダイソー（4046）が急伸。リチウムイオン電池の寿命を4倍以上に延ばす電極用接着剤を開発したとの報道が材料で、低位で値動きが軽いことから、目先筋の買いが入った。（V）

円金先は高値こう着

ユーロ円金利先物相場は高値こう着。日銀金融政策決定会合を控え、全般的に徐々に様子見となりつつある。午後3時5分現在、中心限月13年6月限は99・770、99・775の動き。出来高概算は9000枚。（W）

足元加重は0・08%台

午後の無担翌日物は0・10%割れが中心で、加重平均は0・08%台の見込み。短国市場は新発債以外は動意薄。日銀は午後、共通担保資金供給（資産買入等基金）8000億円程度（1月21日、4月25日）、同8000億円程度（1月21日、7月22日）を通知した。（E）

一方、日銀が実施した国債買い切りオペ（残存1年超10年以下）、および同（残存10年超30年以下）の結果は次の通り。▼残存1年超10年以下①受渡日21日②買入予定額2500億円程度③応札額1兆8億④落札額2504億円⑤足切り利回り較差プラス0・004%⑥平均利回り較差プラス0・005%⑦案分56・8%▼残存10年超30年以下①21日②1000億円程度③3957億円④1007億円⑤プラス0・002%⑥プラス0・004%⑦16・1%（Z）

3M短国入札は順調消化

きょうの3カ月短国入札の応札倍率は14・76倍で、前回（18・25倍）を下回った（本日付落札情報に各社別落札結果）。最高落札金利は前回（0・0953%）から小幅低下した。来週の日銀金融政策決定会合での追加緩和が意識され、玉確保の姿勢は継続しているが、特に買い

進む展開には至っていないと指摘された。入札後の業者間取引でも、平均落札価格0・0938%の出会いが観測されるなど微調整の動きが見られている。（E）

★円、88円台後半に再軟化☆

午後の東京外為市場のドル・円相場は、円が88円台後半に再び軟化。円は一時88円13銭まで上昇し、前日午後5時に比べほぼ変わらずの水準まで買い戻されたものの、その後88円台後半ときょうの安値圏まで売られた。市場では88円台を維持している点で、「来週の日銀による追加緩和を期待した円売りも根強い」（都銀）と見られている。ただ、海外からではなく本邦の関係者から円安けん制的な発言が出てきたことで、「一気に90円を試す心理は後退している」（証券）との指摘もされている。また、アジア株が軟調に推移していることもあり、リスク回避の思惑からユーロや豪ドルなどが軟調に推移した。（U）

◇国債先物は5日続伸◇

国債先物は5営業日続伸。朝方は上げ一服感もあり、株価堅調を背景に調整ムードが台頭したが、後場は株価が下落に転じるとともに買い戻しが活発化した。今後の追加緩和期待から5年以下については低位で安定している一方、今後の増発や財政不安から超長期ゾーンは重い足どりとなつていていることで、先物の上値もやや抑制された。先物3月限は後場、一時144円50銭まで上昇した。1日出来高は5兆6379億円。B Bの現物債は、10年327回債0・730、750%、5年107回債0・150、160%、20年141回債1・725、740%、30年37回債1・955、970%の各出合い。（W）

12年の取引停止処分者は4年連続減

全銀協が17日発表した12年歴年の全国法人取引停止処分者の負債状況によると、取引停止処分者件数は前年比8・4%減の2390件、負債金額は同18・4%減の5553億円と、ともに4年連続で減少した。件数の原因別構成比は、売上不振（57・9%）、コスト高・採算悪化等（12・3%）、売上金回収困難（5・4%）の順だった。（V）

12月の百貨店売上高は2カ月ぶり減

日本百貨店協会が17日発表した昨年12月の全国百貨店売上高は、店舗数調整後で前年同月比1・3%減の7165億円と2カ月ぶりに減少した。商品別では、衣料品が同1・8%減、家庭用品が同3・7%減、食料品が同2・1%減、身の回り品が0・8%増、雑貨が変わらず。（I）

12年は16年ぶりに増加

一方、12年間の売上高の累計は店舗数調節後で0・3%増の6兆1453億円と16年ぶりに増加。震災の反動、本物志向へと消費マインドが変化したこと、都心大型店の増床などが寄与した。（I）

2013.1.17		午後3時現在	
ドル/円	88.64	Δ0.54	
ユーロ/円	117.89	Δ0.90	
平均株価	10609.64	Δ9.20	
TOPIX	890.46	Δ2.35	
225先③	10630	Δ50	
東証2部	2594.07	▼7.08	
マザーズ	478.32	▼1.81	
ジャスダック	59.53	Δ0.19	
国内CB単平	107.13	+0.17	
債券先物③	144.38円	+0.07円	
10年327回	0.735%	-0.010%	
5年107回	0.150%	-0.010%	
20年141回	1.735%	+0.010%	
円・円スワップ	気配(%)15:00現在		
2年	0.2575	~	0.1575
3年	0.25375	~	0.15375
5年	0.31625	~	0.21625
10年	0.79125	~	0.69125
無担翌日物	0.080%	程度	
ユーロ円現物金利			
1カ月	0.12%	~	0.07%
2カ月	0.12%	~	0.08%
3カ月	0.13%	~	0.09%
ユーロ円金先⑥	99.770	±0	

※無担翌日物は中心、比較は前営業日、ドル・円は午後3時30分現在の気配値、円金先は清算価格、現物国債は午後3時20分現在のBB出来値

無断コピーおよび転送は固くお断りしております

◆高速道路機構政保債などが条件決定◆

▼日本高速道路保有・債務返済機構第183回債（政府保証債）①発行額300億円②事務幹事三菱UFJMS③期間20年（償還日・33年1月31日）④利率1・726%⑤スプレッド⑥発行価格100円⑦申込期間17日⑧18日⑧払込日30日⑨発行・支払代理人・受託三井住友銀⑩格付け⑪手数料35銭⑫各債券の金額1億円⑬利払い1月と7月の各20日▼大阪府第90回5年公募債①200億円②りそな銀、三井住友銀、三菱東京UFJ銀、SMB日興、岡三、大和③5年（18年1月30日）④0・19%（応募者利回り0・194%）⑤⑥99円98銭⑦募集17日⑧24日⑨30日⑩受託りそな銀⑪22銭⑫各公債の金額1万円⑬1月と7月の各30日

◆住宅機構、SB型で20年債を増額◆

住宅金融支援機構は、18日に起債予定のSB型財投機関債のマーケティングを継続。20年債の発行額は220億円に増額された。（F）

◎豪失業率が5.4%に上昇◎

オーストラリア統計局が17日発表した12年12月の雇用統計によると、失業率（季節調整済み）は5・4%となった。市場事前予想の5・4%と同じで、前月の5・3%に比べ上昇した。就業者数は前月比5500人減で、市場予想は5000人の増加だった。就業者数の内訳は、フルタイムが1万3800人減、パートタイムが8300人増。労働参加率は、前月と横ばいの65・1%だった。

◎政策金利を7・25%で据え置き◎

ブラジル中銀、2会合連続

ブラジル中央銀行は16日の金融政策委員会で、年7・25%と過去最低水準にある政策金利の据え置きを全会一致で決めた。据え置きは2会合連続。中銀は声明で「金融情勢を十分に長い時間安定させることが、インフレを目標に収れんさせるために最も適切」と従来通りの表現を踏襲。ただ、インフレは「短期的には悪化している」と強調したほか、国内経済の回復具合も「想定よりも弱含んでいる」と指摘。今後の景気動向によつては、次回会合以降に金利調整を行う可能性も示唆した。

(この項時事 T)

【事業会社債シェア】

★三菱東京UFJ銀行第140回債

発行額400億円 ☆三菱UFJモルガン・スタンレー76%△野村6%△ゴールドマン・サックス4%△大和、パークレイズ、モルガン・スタンレーMUFJ、クレディ・スイス各3%△ドイツ、しんきん各1% 以上9社

★三菱東京UFJ銀行第141回債

発行額100億円 ☆三菱UFJモルガン・スタンレー85%△野村、ゴールドマン・サックス、しんきん各5% 以上4社

【財投機関債シェア】

★日本政策投資銀行第32回債

発行額350億円 ☆大和、みずほ、SMB日興各30%△三菱UFJモルガン・スタンレー4・29%△東海東京3・43%△野村2・29% 以上6社

★日本政策投資銀行第33回債

発行額350億円 ☆大和、みずほ、SMB日興各30%☆△三菱UFJモルガン・スタンレー、野村各3・43%△東海東京2・29%△シティグループ0・86% 以上7社

【地方債シェア】

★横浜市第26回公募債

発行額200億円 ☆野村34%☆三菱UFJモルガン・スタンレー、パークレイズ各33% 以上3社

【政府保証債シェア】

★日本高速道路保有・債務返済機構第183回債

発行額300億円 ☆三菱UFJモルガン・スタンレー24・67%△SMB日興23・33%△大和20%△みずほ10%△岡三、RBS各6・67%△しんきん、モルガン・スタンレーMUFJ各3・33%△野村2% 以上9社

■アジア各国株式指数17日

(日本時間午後3時10分現在)

	終値	前日比
ハンセン(香港)	23319.58	-37.41
ST(シンガポール)	3197.56	-10.94
KLCI(マレーシア)	1683.28	+0.33
SET総合(タイ)	1412.38	-3.76
JSX総合(インドネシア)	4413.524	+2.560
SENSEX30種(インド)	19906.12	+88.49
上海総合(中国)	2289.600	-19.899
加権(台湾)	7616.64	-83.79
総合(韓国)	1974.27	-3.18

【他通貨の動き】

EUR/\$	1.3285	~	1.3289
£/\$	1.6001	~	1.6005
\$/SFR	0.9315	~	0.9320
A・\$/¥	1.0508	~	1.0510
\$/C・\$	0.9865	~	0.9867

相場はドル当り通貨、
£/A・\$/EURは自国通貨当りドル

£/¥	141.96
SFR/¥	95.21
A・\$/¥	93.23
C・\$/¥	89.91

東京市場 17日

【ドル・円為替先物午後3:30時点気配】

[単位:銭]

期間	Swap	Spread
O/N	-0.085	~ -0.054
T/N	-0.308	~ -0.257
S/N	-0.085	~ -0.055
1W	-0.52	~ -0.48
2W	-1.06	~ -1.00
3W	-1.63	~ -1.48
S/E	-	-
1M	-2.34	~ -2.27
2M	-4.36	~ -4.24
3M	-6.83	~ -6.68
4M	-9.63	~ -9.38
5M	-12.71	~ -12.36
6M	-15.33	~ -14.88
7M	-18.58	~ -17.83
8M	-22.20	~ -21.40
9M	-26.49	~ -23.99
10M	-30.45	~ -28.95
11M	-34.71	~ -32.54
1YR	-39.00	~ -37.00
2YR	-106.50	~ -100.50
3YR	-216.40	~ -206.40
4YR	-370.20	~ -350.20
5YR	-560.10	~ -530.10
6YR	-	-
7YR	-992.50	~ -944.60
8YR	-	-
9YR	-	-
10YR	-1587.00	~ -1485.00

(円/ドル) - :ディスカウント、+:プレミアム

アジア株

上海総合が1%超の続落

17日のアジア株式市場は、引き続き利益確定の売りが優勢で軟調に推移。上海総合指数は大幅続落。中国経済の持ち直し期待は強いものの、今週初に大きく上昇した反動による利食い売りが継続し、ハイテクや金融などが幅広く下落。下落率も1%超に達している。香港ハンセン指数は3日続落。押し目買いの動きから15日に付けた昨年来高値を試す場面もあったが、高値警戒感が強く、利食い売りに押された。通信や素材などが安い。韓国総合指数は3日続落。指数は昨年12月11日以来、1カ月ぶりの安値を付けている。台湾加権指数は3日続落。ヘルスケアや消費関連、主力のハイテクなどが売られ、下落率も1%超に達している。ジャカルタ総合指数は4日続伸。利食い売りが一巡するなか、通信や石油・ガスなどが買われ、指数は7日の最高値に迫っている。フィリピン総合指数は3日ぶり反発。小売りや通信などが買われている。シンガポールST指数は反発。消費財や資本財などが安く、買いの動きは続いている。このほか、マレーシアKLCI指数は反発。タイSET指数は3日続落。ベトナムVN指数は3日ぶりに反発。ムンバイSENSEX指数は反発。利下げ期待が相場を支えているが、節目の2万台にはやや遠い状況。（U）

1月17日の日本円TIBORレート 単位:%、速報値

1カ月	0.18000	7カ月	0.41000
2カ月	0.24833	8カ月	0.42000
3カ月	0.30667	9カ月	0.42083
4カ月	0.33750	10カ月	0.42083
5カ月	0.37667	11カ月	0.42083
6カ月	0.40500	12カ月	0.42083

全銀協公認

1月17日のユーロ円TIBORレート 単位:%、速報値

1カ月	0.18000	7カ月	0.41000
2カ月	0.24727	8カ月	0.42000
3カ月	0.30545	9カ月	0.42182
4カ月	0.33636	10カ月	0.42364
5カ月	0.37364	11カ月	0.42364
6カ月	0.40364	12カ月	0.42364

全銀協公認